

平 1 9 病 虫 防 第 3 号
平成19年(2007年) 8月13日

関係機関・団体長
病害虫防除員
農薬管理指導士

】 様

山口県病害虫防除所長

水稻のコブノメイガの発生状況及び防除対策（技術資料第4号）について

このことについて、7月30日付けで注意報第2号を発令しているところですが、8月7日～9日の調査結果から今後も発生が多いことが予想されます。
ついては、防除時期を逃さないよう再度、防除指導の徹底をお願いします。

記

1 発生状況

- (1) 8月7日～9日の巡回調査では、20回当たり成虫払い出し頭数は61.5頭（平年4.0頭）で平年に比べ多かった。
- (2) 県内全域で発生が多く、特に北浦で多かった（図1）。
- (3) 防除が必要な8月中旬以降に出穂するほ場では、防除の目安（20回当たり成虫払い出し頭数100頭）を超えるほ場は24.3%で多かった。

2 今後の予想

- (1) 発生地域 県内全域（8月中旬～9月に出穂するほ場）
- (2) 発生量 多
- (3) 今後の予想 8月中旬以降、幼虫により止め葉や第2葉の被害が多発生すると推測される。

3 防除対策

防除適期である8月13日～17日（若令幼虫最盛期）に粉剤または液剤で防除を行う（図2）。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 本年は発生時期が短期間に集中しているため、防除適期を逃すと効果が劣る。
- (2) 出穂後のイネには産卵が少ないため、8月上旬までに出穂したほ場ではコブノメイガ対象の防除は必要ない。

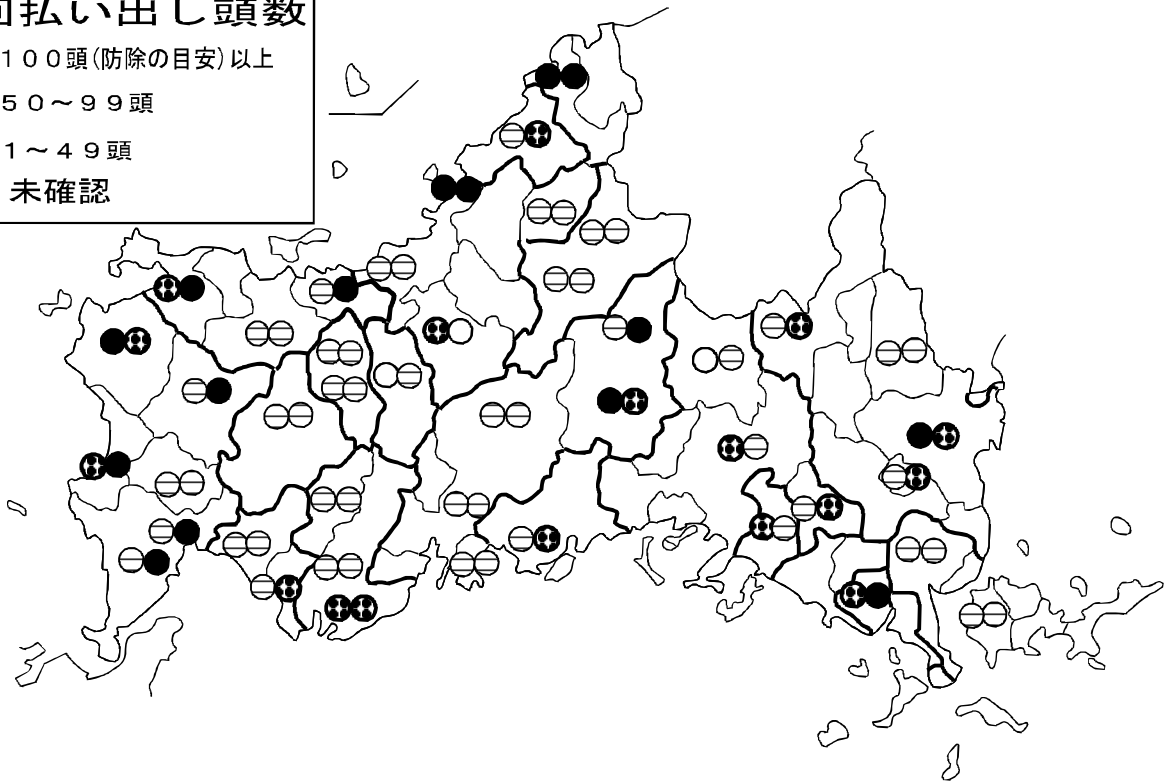
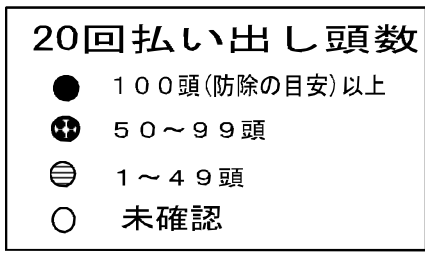


図1 コブノメイガの成虫発生状況（8月7日～9日）

注) この図は病害虫防除所が行う定期巡回ほ場における調査結果であり、地域全体の発生状況を表しているものではありません。

JPP-NET病害虫発生予測システム

飛来日	8月				9月		
	10	15	20	25	1	5	10
コブノメイガ							
○ 6月30日	- @@@@	oooo	oooo	oooo	oooo	++++	++++ AAAA--
☆ ◎ 7月3日	A---	@@@o	oooo	oooo	oooo	++++	++++ AAAA
☆ ◎ 7月4日	A---	@@@o	oooo	oooo	oooo	++++	++++ AAAA
☆ ◎ 7月5日	AA--	@@@o	oooo	oooo	oooo	o++++	++++ AAAA
○ 7月10日	++ AAAA	--- @@@@	oooo	oooo	oooo	oooo	oooo++++

予測日 2007年 8月 9日

凡例 A: 成虫 -: 卵 o: 幼虫 +: 蛹 @: 防除適期
 ☆ 主要な飛来 ◎ 多飛来 ○ 並飛来 △ 少飛来

図2 コブノメイガの防除適期予測図